

AI農業にむけて

清風情報工科学院

平岡憲人

現代農業が超えるべき課題

- ・ 単位面積あたりの収穫量の増加（反収の増加、生産性向上）
 - ・ 単位労働時間あたりの収入の増加（手数の削減、自動化、生産性向上）
 - ・ 栽培リスクの削減（病虫害の防除、天候リスク低下、災害リスク低下）
 - ・ マーケットへの追従（定時・定量・高品質の供給、ライバルとの差別化）
 - ・ 付加価値の向上（直接消費者へ売る、加工して単価を上げる）
- ・ 従来どおりに活用する部分
 - ・ 新たな方式を創造する部分

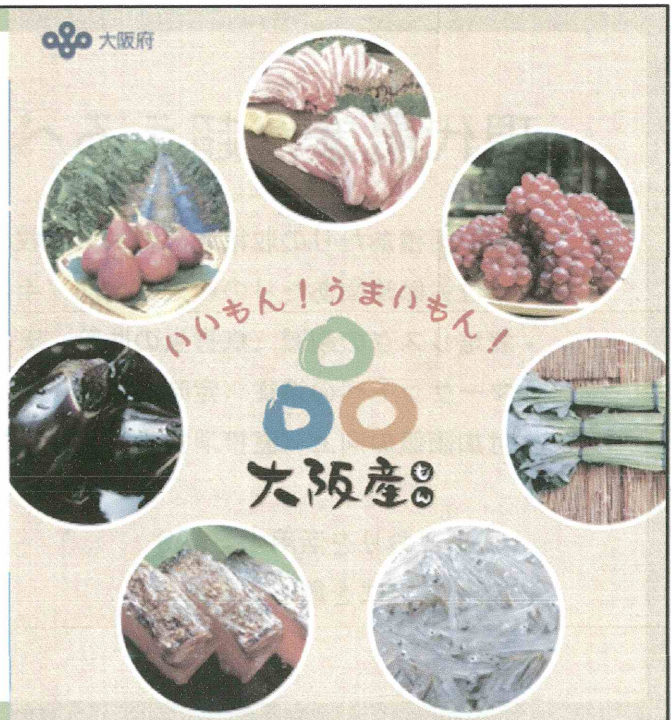
なにわの伝統野菜1



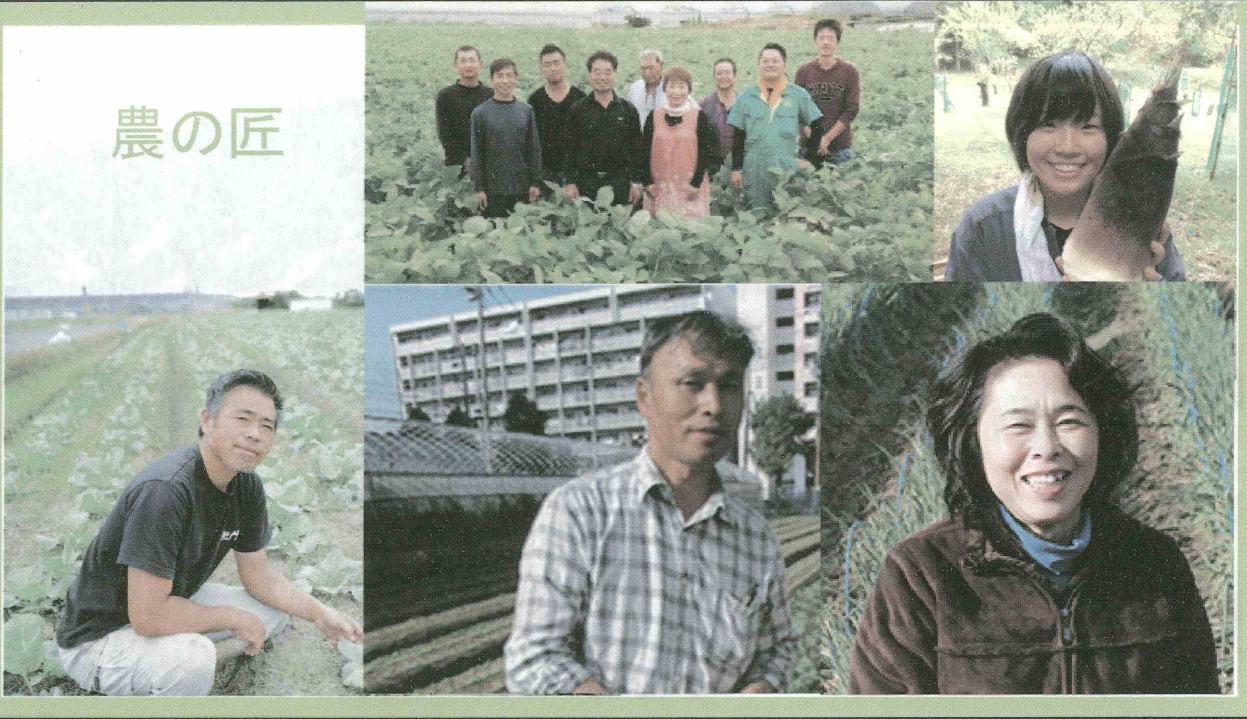
なにわの伝統野菜2



大阪産もん



農の匠



さつまいも





トマト

吉田 剛
長期多段ど トマトの

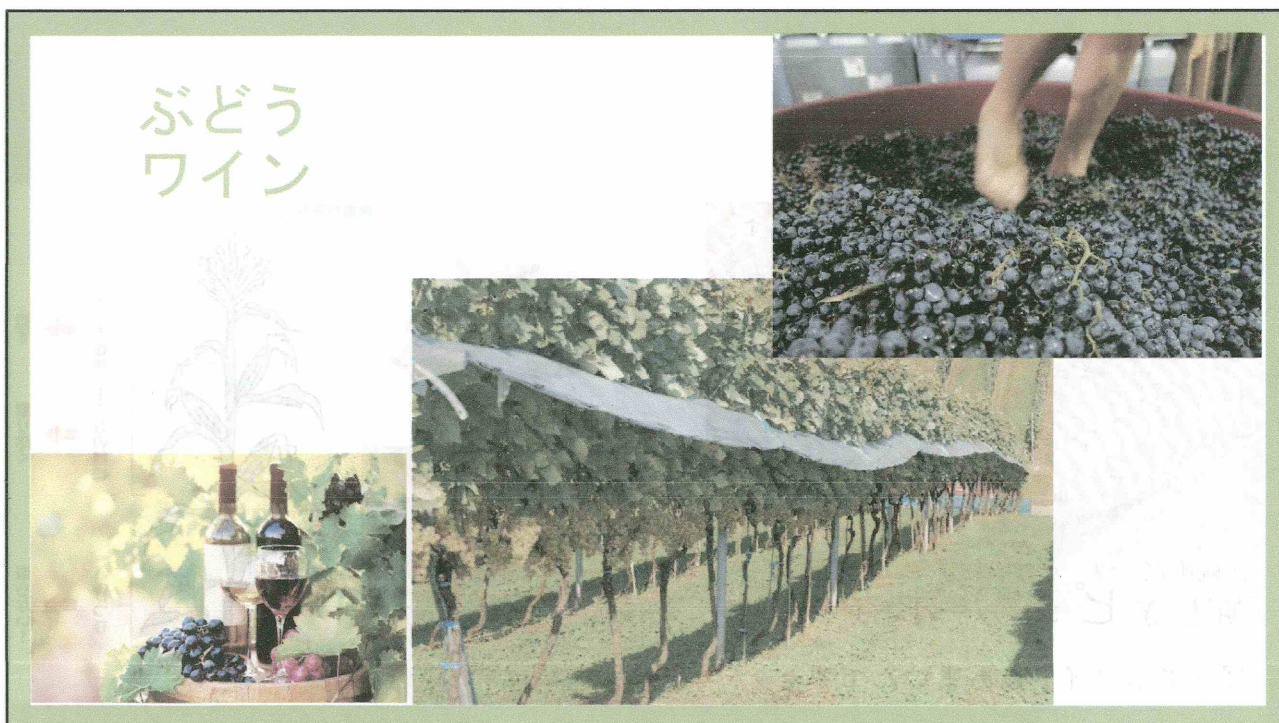
とうもろこし

とにかく甘く甘く甘いとうもろこしです。

●穂穂を整理する

一番上の穂穂 → 残す
下の方の穂穂 → 取り除く
分けつ枝 → 取らない!

南幌町産 (10本セット)
朝もぎピュアホワイト
ピュアホワイト&あまいんですセット



わさび

初めて育てる方におすすめ!!

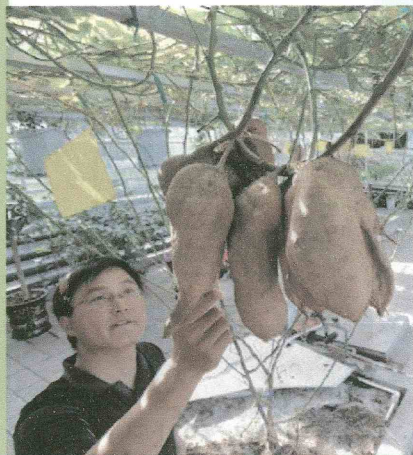
畑ワサビ
山菜栽培キット

山菜の栽培に適した用土と
小さなプランターをセットにしました

垂直農業
v-farm

垂直農業
v-farm

多段栽培 空中栽培



サツマイモの空中栽培

水耕栽培



土を使わず手軽に楽しめる水耕栽培キット

ホームハイポニカ601
か
る
果菜ちゃん

水耕だから大きく育つ たくさん実る
扉やベランダで省スペース家庭菜園



養液栽培



アクアフォーム





全国きゅうり

養液栽培サミット

テーマ：栽培技術を活かした産地再生に向けて！

全国からきゅうりの産地産地を取り組む生産者、技術者に集い、企業が一丸となり、居住環境に合わせた産地再生について産地交流を促進でき、水産性に特化した産地再生の糧を築く。

不安定 調整しにくい → 安定 調整しやすい

2018年 10月18日(木) ~ 19日(金)

10:30 ~ 13:00 12:00 ~

会場： 1 阿波海南文化村 文化館 2 阿波海南文化村 文化館

参加費： 1 阿波のあゆみ 3,000円 阿波のあゆみ 5,000円

主催： 阿波県農業振興センター 協賛： 阿波県農業振興センター 阿波県農業振興センター

フィルム農法 アイメック

• https://www.youtube.com/watch?v=S_uMOVcKvBo



根 酸素 アイメックフィルム 養液 ウィルス・病原菌



アイメックフィルム
ナノサイズの穴が開いたフィルム。
酸素が、チューブから穴に養液をスプレーして、アイメックフィルムに供給します。
止水シート
地中からの害虫や病原菌の侵入を防ぎます。
マルチフィルム
根が自分でアイメックフィルムのナノサイズの穴から、養液を吸収しようとしたとき、穴が小さく、少しづつしか吸収できないので、吸収する力が強く育ちます。



スマートプランター



鉢植え: 毎日の水やり SoBiCでの栽培: ほぼ放ったらかし



2017/07/04 → 2017/07/13

SoBiCでの栽培: ほぼ放ったらかし
鉢植え: 毎日の水やり



2017/05/2 → 2017/05/14

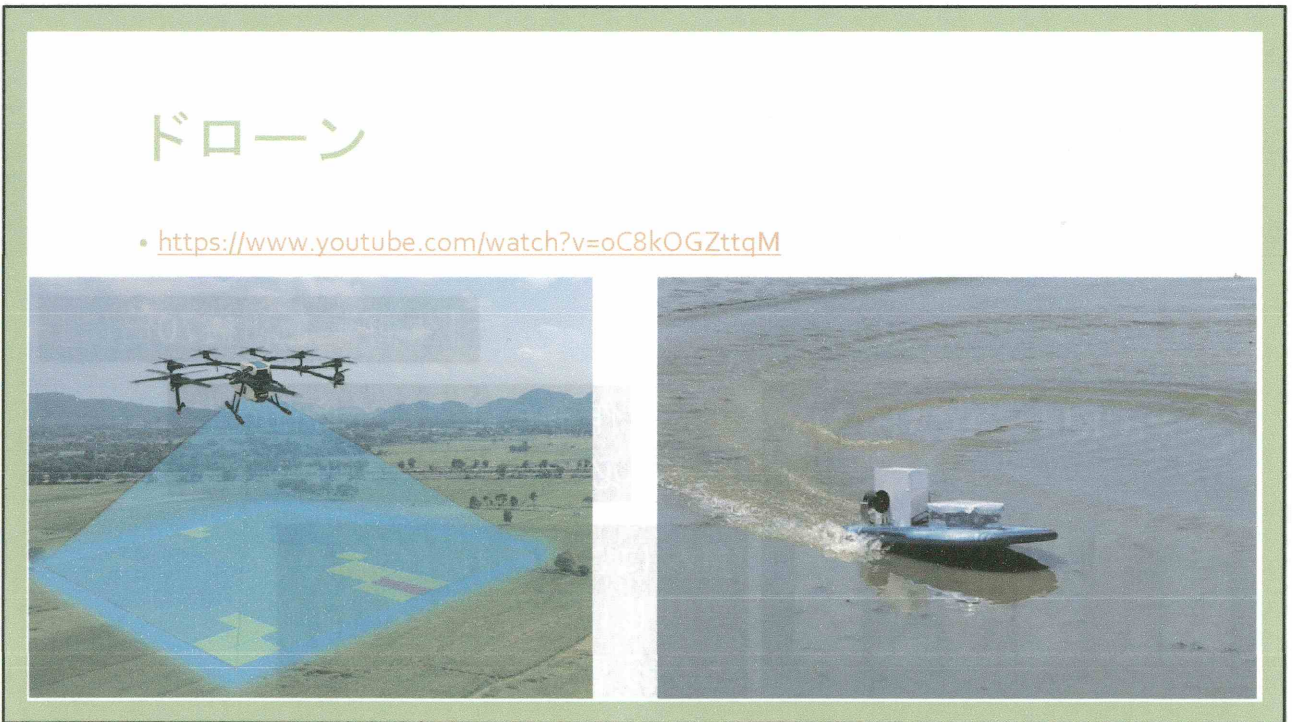
SoBiCでの栽培: ほぼ放ったらかし
鉢植え: 毎日の水やり



2018/07/26 → 2018/08/25

SoBiCでの栽培: ほぼ放ったらかし
鉢植え: 毎日の水やり

SoBiC



市民農園 マイファーム

農の学校

農地オーナー (農家様)

集金・募集・管理代行

MY FARM

集金

マイファーム

利用契約

一般消費者様

募集・指導補助

※その他の方式を採用する場合があります。

ピクルスアカデミー

• <https://www.youtube.com/watch?v=I5eD6vBnpYY>

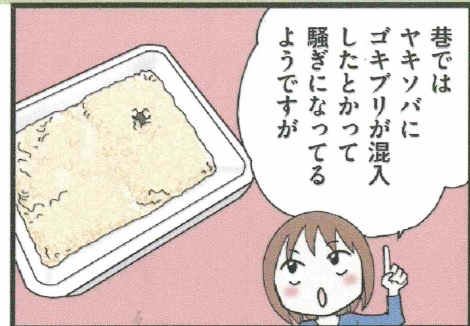
「生野菜を利益70倍に」

作るだけでなく商品化に必要な技術を身に付ける

食材にこだわれば売れる
美味しければ売れる
という思い込みは捨てる

PICKLES ACADEMY
produced by HagiyasaiPickles

昆虫食



現代農業が超えるべき課題

- 単位面積あたりの収穫量の増加（反収の増加、生産性向上）
- 単位労働時間あたりの収入の増加（手数の削減、自動化、生産性向上）
- 栽培リスクの削減（病害虫の防除、天候リスク低下、災害リスク低下）
- マーケットへの追従（定時・定量・高品質の供給、ライバルとの差別化）
- 付加価値の向上（直接消費者へ売る、加工して単価を上げる）



- 従来どおりに活用する部分
- 新たな方式を創造する部分